

4. 受験票の交付

受験票は、出願受付期間終了後本人あてに郵送します。平成29年11月17日(金)までに届かない者は、至急学生支援部入試課へ照会してください。

5. AO入試方法等

AO入試における志望する学部・課程（コース・専攻）が指定した教科・科目は「（3）選抜方法等（32ページ）」のとおりです。受験する際は以下の注意事項に十分留意し、志望する学部・課程（コース・専攻）の指定した受験教科・科目を確実に受験してください。

大学入試センター試験で受験を要する教科・科目に関する注意事項

AO入試を実施する学部・課程（コース・専攻）は、平成30年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目を指定しています。志望する学部・課程（コース・専攻）が指定した教科・科目（第1解答科目の指定を含む）を一つでも受験していないことが判明した場合、合否判定の対象とはなりませんので、注意してください。

（1）大学入試センター試験に係る注意事項

I. 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目について

地理歴史・公民及び理科の基礎を付していない科目を2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」として取扱います。

また、得点の採用方法等については、「（3）選抜方法等」の志望する学部・課程（コース・専攻）の「大学入試センター試験の成績の取扱いについての注意事項」で確認してください。

II. 成績の利用について

大学入試センター試験の成績は、平成30年度のものに限り利用します。

（2）教科・科目名の表記について

大学入試センター試験の教科・科目名は、次のように表記しています。

教科名	科 目 名
国語→国	『国語』→『国語』
地理歴史→地歴	『世界史A』→『世A』,『世界史B』→『世B』,『日本史A』→『日A』,『日本史B』→『日B』,『地理A』→『地理A』,『地理B』→『地理B』
公民→公民	『現代社会』→『現社』,『倫理』→『倫』,『政治・経済』→『政経』,『倫理,政治・経済』→『「倫・政経」』
数学→数	『数学Ⅰ』→『数Ⅰ』,『数学Ⅱ』→『数Ⅱ』,『数学A』→『数A』,『数学B』→『数B』,『簿記・会計』→『簿』,『情報関係基礎』→『情報』
理科→理	『物理基礎』→『物基』,『化学基礎』→『化基』,『生物基礎』→『生基』,『地学基礎』→『地基』,『物理』→『物』,『化学』→『化』,『生物』→『生』,『地学』→『地学』
外国語→外	『英語』→『英』,『ドイツ語』→『独』,『フランス語』→『仏』,『中国語』→『中』,『韓国語』→『韓』

※理科の『基礎を付した科目』とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指し、『基礎を付していない科目』とは、物理、化学、生物、地学を指します。

(3) 選抜方法等

教育学部

学校教育課程小中一貫教育コース中学校主免専攻（音楽、美術、保健体育、家庭、英語）

(1) 選抜方法

（第1次選考）面接①・書類審査（出願書類：自己推薦書、志望理由書、実技・活動等に関する調書），各教科の定める個別審査により選抜します。なお、第2次選考に向けて課題を課す場合があります。

※第1次選考時に選考の流れ及び第2次選考に向けての心構え等を説明するガイダンスを行います。

（第2次選考）面接②、第1次選考の結果及び大学入試センター試験の結果を総合して選抜します。

なお、第1次選考時に課した課題は面接②の基礎資料とします。

課程（コース・専攻）	大学入試センター試験で受験を要する教科・科目名	選考試験の種類
学校教育課程 小中一貫教育コース 中学校主免専攻 音楽・美術 保健体育・ 家庭・英語	国 外 数 地歴・公民 理 （国語） （英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1） （数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・B、簿、情報） （世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、「倫・政経」） （物、化、生、地学、（物基、化基、生基、地基から2）） （3教科3科目又は3教科4科目）	（第1次選考） 面接① 各教科の定める個別審査 （第2次選考） 面接②

大学入試センター試験の成績の取扱いについての注意事項

- 1) 数学、地歴・公民及び理科において、受験する科目のうち高得点の成績を採用します。
ただし、地歴・公民及び理科の「第2解答科目」は、利用しません。
- 2) 英語は、筆記試験、リスニングテストの両方を必ず受験してください（大学入試センターからリスニングテストを免除された者を除きます）。筆記試験のみ受験した者（免除者以外）及びリスニングテストのみ受験した者は英語を受験しなかったものとして取り扱います。

(2) 選考方法

ア. 学校教育課程小中一貫教育コース中学校主免専攻（音楽）

【第1次選考】

面接①：複数の教員で面接（集団又は個人）を行い、書類審査を含み、中学校及び小学校教育、音楽科教育への関心及び教員としての適性等をみます。また、質問内容には音楽に関する基礎的知識（楽典等）を含みます。面接時間は15分程度とします。

教科の定める個別審査（実技）：

次の1. 及び2. をどちらも演奏する。

1. ピアノ 次の練習曲集から任意の1曲（暗譜）
C. Czerny 40番 練習曲集 op. 299
C. Czerny 50番 練習曲集 op. 740
F. Chopin 練習曲集 op. 10, op. 25 (ただしop. 10-6, op. 25-7を除く)

2. 声楽、管楽器又は弦楽器

声楽を選択する場合は、次の3曲から任意の1曲（暗譜の必要はない）。

Concone 50番 op. 9より 24番, 29番, 39番

※ 中声用又は低声用のいずれかを出願時に選択すること。母音唱、階名唱、音名唱のいずれも可とする。伴奏者及び伴奏譜（全音楽譜出版社）は本学で用意する。

管楽器又は弦楽器を選択する場合は、任意の練習曲（暗譜の必要はない）。

※ 出願時に楽譜を同封すること。

【第2次選考】

面接②：複数の教員で個人面接を行い、音楽科教員としての適性等をみます。次の1. 2. 3. よりいずれかを選択して演奏した後、演奏した楽曲や、自身の演奏等についての質問に答えます。面接時間は1人20分程度（演奏を含む）とします。

1. ピアノ J. Haydn, W. A. Mozart, L. v. Beethoven のソナタの中から、緩徐楽章及び変奏曲楽章を除く任意の1つの楽章（暗譜。繰り返し及びD.C.は省略）

2. 声楽 イタリア語又はドイツ語の歌詞による任意の1曲（原語。暗譜）

※ 原則として、原調で演奏すること。ただし、出版されている移調楽譜の使用も可とする。伴奏者は本学が用意する。伴奏譜については、出願時に同封すること。

3. 管楽器又は弦楽器 任意の1曲（暗譜。ソナタ又は協奏曲の場合は1つの楽章）

※ 繰り返し省略。カデンツァ省略可。練習曲も可とするが、第1次選考と同一曲は不可。当日伴奏無し。出願時に楽譜を同封すること。

イ. 学校教育課程小中一貫教育コース中学校主免専攻（美術）

【第1次選考】

面接①：複数の教員で面接（集団又は個人）を行い、書類審査を含み、中学校及び小学校教育、美術科教育への関心及び適性等をみます。面接時間は15分程度とします。

教科の定める個別審査（実技）：

「鉛筆デッサン」（モチーフの一部として使用する紙工作を含む（注））を行い、構成力・描写力・表現力をみます。

（注）モチーフ作りの詳細については、当日ガイダンスにて説明します。

【第2次選考】

面接②：複数の教員で個人面接を行い、中学校及び小学校教育、美術科教育に関わる関心及び適性等をみます。面接時間は1人20分程度とします。

ウ. 学校教育課程小中一貫教育コース中学校主免専攻（保健体育）

【第1次選考】

面接①：複数の教員で面接（集団又は個人）を行い、書類審査を含み、中学校及び小学校教育、保健体育科教育への関心及び適性等をみます。面接時間は15分程度とします。

教科の定める個別審査（実技）：

「陸上競技」、「ダンス」、「器械運動」、「バレーボール」、「バスケットボール」、「サッカー」の中から、当日こちらが指定した4～6種目を行い、中学校教員に必要な基礎的運動能力をみます。

（注）実技内容の詳細については、当日ガイダンスにて説明します。

【第2次選考】

面接②：複数の教員で個人面接を行い、中学校及び小学校教育、保健体育科教育への関心及び適性等をみます。面接時間は1人20分程度とします。

エ. 学校教育課程小中一貫教育コース中学校主免専攻（家庭）

【第1次選考】

面接①：複数の教員で面接（集団又は個人）を行い、書類審査を含み、中学校及び小学校教育、家庭科教育への関心及び適性等をみます。面接時間は15分程度とします。

教科の定める個別審査（プレゼンテーション等）：

高等学校までに学習した家庭科の内容に関するテーマについて、プレゼンテーションをもらいます。さらにその内容についての質疑応答を行い、自分の考えをまとめ人に伝える能力と大学で家庭科を学ぶ上での基礎力をみます。

（注）プレゼンテーションの詳細については、当日ガイダンスにて説明します。

【第2次選考】

面接②：複数の教員で面接（集団または個人）を行い、中学校及び小学校教育、家庭科教育への関心及び適性等をみます。面接時間は1人20分程度とします。

オ. 学校教育課程小中一貫教育コース中学校主免専攻（英語）

【第1次選考】

面接①：複数の教員で面接（集団又は個人）を行い、書類審査を含み、中学校及び小学校教育、英語科教育への関心及び適性等をみます。教科の定める個別審査で書いた英文についての英語による質疑応答等を含みます。面接時間は20分程度とします。

教科の定める個別審査（英語によるコミュニケーション）：

与えられたテーマについて200語程度の英作文等を課します。

【第2次選考】

面接②：複数の教員で個人面接を行い、中学校及び小学校教育、英語科教育への関心及び適性等をみます。面接時間は1人20分程度とします。なお、英語による質疑応答を含みます。

（3）選考日時及び試験場

【第1次選考】

ア. 選考日時 平成29年11月25日(土)・26日(日)

※すべての試験時間は、進行の度合いによっては開始時刻等を変更することがあります。出願状況によっては、いずれかの1日、又は2日間での実施となります。詳しくは、受験票送付の際にお知らせします。

「各教科の定める個別審査」は、「個別審査」と略記しています。

教育学部学校教育課程小中一貫教育コース中学校主免専攻

- イ. 集合場所 宮崎大学教育学部（木花キャンパス）
宮崎市学園木花台西1丁目1番地 TEL(0985)58-2891
- ウ. 選考当日の携行品
- ①宮崎大学入学試験受験票〔AO入試用〕
 - ②筆記用具
 - ③各教科の定める個別審査に要する道具
- 音 楽：声楽、管楽器又は弦楽器用楽譜（必要とする者のみ），楽器（管楽器又は弦楽器を選択した者のみ）
- 美 術：鉛筆デッサン用具，はさみ，のり，定規（30cm程度）
- 保健体育：運動のできる服装，体育館シューズ，屋外シューズ（スパイクは除く）
- 家 庭：特になし
- 英 語：特になし

【第2次選考】

- ア. 選考日時 平成30年1月20日（土）・21日（日）
※受験者数によっては、いずれかの1日、又は2日間での実施となります。
詳しくは、第1次選考結果通知の際にお知らせします。
- イ. 集合場所 宮崎大学教育学部（木花キャンパス）
宮崎市学園木花台西1丁目1番地 TEL(0985)58-2891
- ウ. 選考当日の携行品
- ①宮崎大学入学試験受験票〔AO入試用〕
 - ②大学入試センター試験受験票
 - ③筆記用具
 - ④第1次選考時に課された課題（課されている場合のみ）
 - ⑤その他
- 音 楽：面接②で使用する楽器（管楽器又は弦楽器を選択した者のみ）